

公立病院改革プランの概要

団 体 名		北海道上富良野町					
プ ラ ン の 名 称		上富良野町立病院改革プラン					
策 定 日		平成 21年 3月 31日					
対 象 期 間		平成 21年度 ~ 平成 23年度					
病院 の 現 状	病 院 名	上富良野町立病院					
	所 在 地	北海道空知郡上富良野町大町3丁目2番15号					
	病 床 数	一般44床					
	診 療 科 目	内科・外科・泌尿器科(隔週水曜日)・循環器内科と眼科(隔週の金曜日の交替に)					
公立病院として今後果たすべき役割(概要) (注)詳細は別紙添付		<p>上富良野町は、道北(旭川)第三次医療圏まで40kmと富良野第二次医療圏の拠点病院の社会福祉法人北海道社会事業富良野病院(以後、富良野協会病院という)までは15kmの中間位置にあり、当病院からの第二次三次医療機関への搬送は、富良野協会病院に30%、旭川市の医療機関に70%で、町民のかかりつけ医としての、高度専門医への搬送紹介により、医療機能の分担を担っています。</p> <p>町立病院は、一日の外来患者は150名、入院は、一般病床で31名の入院患者の治療にあたり、平成20年12月1日に開設した、「介護療養型老人保健施設(28床)」により、医療と介護の双方を担うとともに、町内には、民間の3箇所の診療所がありますが時間外や救急外来は実施していないため、一般診療、救急診療に加え、特別養護老人施設の回診、予防接種業務、健診などを担っています。</p> <p>町民の70歳以上の7割は上富良野町立病院で看取っており、高齢者の医療はもとより、町民が健康で安全安心に暮らせるまちづくりのため救急体制を維持し、検査機能を充実した入院機能を備えた病院運営が使命であります。</p>					
一般会計における経費負担の考え方(繰出基準の概要) (注)詳細は別紙添付		<ol style="list-style-type: none"> 1 病院の建設改良に要する経費 2 救急医療の確保に要する経費 3 経営基盤強化対策に要する経費 <p>町単独項目</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 基礎年金拠出公的負担 2 介護保険及び高齢者福祉対策経費(ケアマネ、理学療法士確保) 3 退手特別負担金清算分 4 経営安定化に係る特別繰入(不良債務解消等) 5 看護師養成奨学金 					
経営 効 率 化 に 係 る 計 画	財務に係る数値目標(主なもの)	19年度実績	20年度	21年度	22年度	23年度	備考
	医業収支比率	91.1	84.5	84.0	82.2	83.9	%
	経常収支比率	104.6	100.2	100.1	100.2	100.1	%
	職員給与費対医業収益比率	53.8	53.5	56.3	56.4	56.4	%
	不良債務残高	40	90	144	174	204	百円
	年間資金収支	74	50	54	30	30	百円
	病床利用率	70.0	68.0	70.0	70.0	70.0	%(一般病床)
上記目標数値設定の考え方		<p>平成18年度と19年度に、職員の不補充、給食業務や洗濯業務の委託の実施等により経費の削減を実施しております。</p> <p>また、収益の面では、一般病床70%の稼働維持と平成20年12月1日に開設した「介護療養型老人保健施設 上富良野」の運営により、増収を見込んでいます。</p>					

				団体名 (病院名)	北海道上富良野町 (上富良野町立病院)		
公立病院としての医療機能に係る 数値目標(主なもの)		19年度実績	20年度	21年度	22年度	23年度	備考
年延入院患者数		11,269	10,894	11,242	11,242	11,242	人(一般病床)
年延外来患者数		34,649	33,184	33,184	33,184	33,184	人
経営効率化に係る計画	数値目標達成に向けての具体的な取組及び実施時期	民間的経営手法の導入	平成19年2月に町立病院の職員で設立した「上富良野町立病院経営検討委員会」において、各部門別で経営のあり方や経費の削減を検討しました。 洗濯業務 平成18年度委託済み 給食業務 平成19年度委託済み 調剤業務については、外来患者については、90%以上が応需薬局への利用となり、人件費の削減と医薬品の適正在庫管理に努めています。				
		事業規模・形態の見直し	1 平成23年度末の国の介護療養病床の廃止を受けて、平成20年12月1日に療養病床36床を全廃し、28床の「介護療養型老人保健施設」「医療機能併設型小規模老健施設」に転換。 2 一般病床44床については、現状維持。				
		経費削減・抑制対策	1「人件費の削減」 薬剤師と事務職員の不補充、臨時職員1年雇用からパート化(平成18年度から実施 21,000千円削減) 2「業務の見直し」 エレベーターの点検専門業者委託、電話の保守点検の中止、洗濯業務の委託(平成18年度から実施 8,500千円削減) 3「負担金の見直し」 各資格団体負担金の公費支出中止(平成18年度から実施 900千円削減) 4「追録の中止」 病院管理事務提要ほか(平成18年度から実施 740千円削減)				
		収入増加・確保対策	1 新規診療科目として、平成17年10月から「泌尿器科」、平成20年1月から「循環器内科」、同年7月から「眼科」をそれぞれ隔週1日で開始(外来患者年間2,000人増) 2 一般病床の入院基本料の10対1を維持するため、平成20年4月に「看護師等養成修学資金貸付金」の増額改正(看護師月額5万円 7万円) 3 看護師等確保のため、平成20年10月から、医師、看護職員、医療技術者、看護補助員を対象とした院内保育所を開設 4 平成20年12月に稼働率の悪い療養病床36床を全廃し、「介護療養型老人保健施設(28床)」に転換(年間 約20,000千円増収) 5 未収金の発生防止のための徴収業務の強化により、平成16年度からの各単年度の未収金額は、20万円を下回った。				
		その他	1 平成19年2月に、町立病院の職員で構成する「上富良野町立病院経営検討委員会」を設立し、委託経費や人件費の削減、待遇や病院理念作成などの内部改革を実践した。 2 平成19年5月に、役場組織の医療と福祉、介護にかかる関係課と消防の構成する「上富良野町立病院運営検討プロジェクト会議」を設立し、経営の改善に取り組んだ。 3 町民有識者代表(5名)により現に組織されていた「上富良野町立病院病院運営審議会」において、病院の経営はもとより病院運営全般について協議。平成20年度から改革プランの検討体制				
各年度の収支計画		別紙1のとおり					
その他の特記事項	病床利用率の状況	17年度	59.8%	18年度	59.1%	19年度	70.0%
	病床利用率の状況を踏まえた病床数等の抜本見直し、施設の増改築計画の状況等	病床については、一般病床の44床は現状維持します。病床利用率の70%をクリアすると共に、医師及び看護師の確保ができれば、入院基本料10対1が維持できれば、病床利用率80%を目指します。					

団体名 (病院名)	北海道上富良野町 (上富良野町立病院)
--------------	------------------------

再編・ネットワーク化に係る計画	二次医療圏内の公立病院等配置の現況	当病院が所在する富良野医療圏には、公立病院等が3病院所在。上富良野町立病院(上富良野町44床)、中富良野町立病院(中富良野町35床)、社会福祉法人北海道社会事業協会富良野病院(富良野市255床)	
	都道府県医療計画等における今後の方向性	北海道の自治体病院等広域化・連携構想では、富良野圏域は、富良野協会病院をセンター病院として位置づけており、上富良野町立病院と中富良野町立病院を診療所への縮小する構想をしています。	
	再編・ネットワーク化計画の概要及び当該病院における対応計画の概要 (注) 1 詳細は別紙添付 2 具体的な計画が未定の場合は、検討・協議の方向性、検討・協議体制、検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。	<時期> 平成20年8月5日 平成25年度予定	<内容> 富良野圏域自治体病院等広域化・連携検討会議が開催。 今後、広域化・連携検討会議の検討結果を踏まえ、再編・ネットワーク化を協議していく。
経営形態見直しに係る計画	経営形態の現況 (該当箇所) <input checked="" type="checkbox"/> を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 公営企業法財務適用	<input type="checkbox"/> 公営企業法全部適用 <input type="checkbox"/> 地方独立行政法人
	経営形態の見直し(検討)の方向性 (該当箇所) <input checked="" type="checkbox"/> を記入、検討中の場合は複数可)	<input type="checkbox"/> 指定管理者制度	<input type="checkbox"/> 一部事務組合・広域連合
	経営形態見直し計画の概要 (注) 1 詳細は別紙添付 2 具体的な計画が未定の場合は、検討・協議の方向性、検討・協議体制、検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。	<input type="checkbox"/> 公営企業法全部適用 <input type="checkbox"/> 民間譲渡 <input type="checkbox"/> 診療所化	<input type="checkbox"/> 地方独立行政法人 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> 老健施設など、医療機関以外の事業形態への移行
点検・評価・公表等	点検・評価・公表等の体制(委員会等を設置する場合その概要)	院内の職員で構成する「上富良野町立病院経営検討会議」、役場内の医療関係各課長で構成する「上富良野町立病院運営検討プロジェクト会議」、学識経験者等で構成する「上富良野町立病院運営審議会」の3組織において、点検、評価を行い、町広報紙、ホームページ等で公表します。	
	点検・評価の時期(毎年 月 頃等)	毎年9月頃	
その他特記事項			

(別紙)

団体名 (病院名)	北海道上富良野町 (上富良野町立病院)
--------------	------------------------

1. 収支計画 (収益的収支)

(単位: 百万円、%)

年度		年度					
		18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度	22年度	23年度
区分	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
収	1. 医 業 収 益 a	622	695	673	611	610	610
	(1) 料 金 収 入	521	599	572	512	512	512
	(2) そ の 他	101	96	101	99	98	98
	うち他会計負担金	74	74	74	75	74	74
	2. 医 業 外 収 益	72	123	179	250	266	250
	(1) 他会計負担金・補助金	66	116	131	124	140	124
	(2) 国 (県) 補 助 金	0	0	0	0	0	0
	(3) そ の 他	6	7	48	126	126	126
	経 常 収 益 (A)	694	818	852	861	876	860
	入	1. 医 業 費 用 b	763	763	796	727	742
(1) 職 員 給 与 費 c		406	374	360	344	344	344
(2) 材 料 費		94	98	110	95	95	95
(3) 経 費		220	247	284	256	271	256
(4) 減 価 償 却 費		42	42	40	30	30	30
(5) そ の 他		1	2	2	2	2	2
2. 医 業 外 費 用		22	19	54	133	132	132
(1) 支 払 利 息		10	8	2	2	1	1
(2) そ の 他		12	11	52	131	131	131
経 常 費 用 (B)		785	782	850	860	874	859
支	1. 医 業 費 用 b	763	763	796	727	742	727
出	(1) 職 員 給 与 費 c	406	374	360	344	344	344
	(2) 材 料 費	94	98	110	95	95	95
	(3) 経 費	220	247	284	256	271	256
	(4) 減 価 償 却 費	42	42	40	30	30	30
	(5) そ の 他	1	2	2	2	2	2
	2. 医 業 外 費 用	22	19	54	133	132	132
	(1) 支 払 利 息	10	8	2	2	1	1
	(2) そ の 他	12	11	52	131	131	131
	経 常 費 用 (B)	785	782	850	860	874	859
	経 常 損 益 (A) - (B) (C)	91	36	2	1	2	1
特別損益	1. 特 別 利 益 (D)	0	0	0	0	0	0
	2. 特 別 損 失 (E)	0	5	0	0	0	0
	特別損益 (D) - (E) (F)	0	5	0	0	0	0
純 損 益 (C) + (F)	91	31	2	1	2	1	
累 積 欠 損 金 (G)	845	814	812	811	809	808	
不良債務	流 動 資 産 (ア)	106	130	131	169	199	229
	流 動 負 債 (イ)	140	90	41	25	25	25
	うち一時借入金	100	50	0	0	0	0
	翌年度繰越財源(ウ)	0	0	0	0	0	0
	当年度同意等償で未借入又は未発行の額 (I)	0	0	0	0	0	0
	差引 不良債務 (オ)	34	40	90	144	174	204
単 年 度 資 金 不 足 額 ()	23	74	50	54	30	30	
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	88	105	100	100	100	100	
不 良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$	6	6	13	24	29	33	
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$	82	91	85	84	82	84	
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$	65	54	54	56	56	56	
地方財政法施行令第19条第1項により算定した資金の不足額 (H)	23	74	50	54	30	30	
地方財政法上の資金不足の割合 $\frac{(H)}{a} \times 100$	4	11	7	9	5	5	
地方公共団体の財政の健全化に関する法律上の資金不足比率	4	11	7	9	5	5	
病 床 利 用 率	59	70	68	70	70	70	

()N年度における単年度資金不足額については、次の算式により算出すること。

「N年度 単年度資金不足額」= (「N年度の不良債務額」 - 「N - 1年度の不良債務額」)

・不良債務額が負の数となる場合(不良債務が発生しない場合)においても負の数で上記単年度資金不足額を算出すること

例)「22年度単年度資金不足額 30百万円」= (「22年度不良債務額 20百万円」 - 「21年度不良債務額10百万円」)

団体名 (病院名)	北海道上富良野町 (上富良野町立病院)
--------------	------------------------

2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%)

年度		年度						
		18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度	22年度	23年度	
収 入	1. 企 業 債	14	0	0	0	0	0	
	2. 他 会 計 出 資 金	103	127	56	16	11	10	
	3. 他 会 計 負 担 金							
	4. 他 会 計 借 入 金							
	5. 他 会 計 補 助 金							
	6. 国 (県) 補 助 金	0	21	14	18	18	18	
	7. そ の 他	1	2	0	0	0	0	
	収 入 計 (a)	118	150	70	34	29	28	
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)							
	前年度許可債で当年度借入分 (c)							
	純計(a) - {(b) + (c)} (A)	118	150	70	34	29	28	
	支 出	1. 建 設 改 良 費	44	25	43	23	21	21
		2. 企 業 債 償 還 金	72	123	25	9	6	6
		3. 他 会 計 長 期 借 入 金 返 還 金	0	1	0	0	0	0
4. そ の 他		0	1	2	2	2	1	
支 出 計 (B)		116	150	70	34	29	28	
差 引 不 足 額 (B) - (A) (C)		2	0	0	0	0	0	
補 て ん 財 源	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金							
	2. 利 益 剰 余 金 処 分 額							
	3. 繰 越 工 事 資 金							
	4. そ の 他							
計 (D)	0	0	0	0	0	0		
補てん財源不足額 (C) - (D) (E)		2	0	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)								
実質財源不足額 (E) - (F)		2	0	0	0	0	0	

- 複数の病院を有する事業にあっては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
- 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:千円)

	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度	22年度	23年度
収 益 的 収 支	(16,124) 140,218	(62,503) 189,893	(50,848) 204,640	(51,017) 199,093	(66,123) 213,718	(50,450) 197,927
資 本 的 収 支	(40,788) 102,911	(44,726) 127,229	(19,961) 55,571	(8,449) 16,051	(5,870) 10,935	(5,103) 10,286
合 計	(56,912) 243,129	(107,229) 317,122	(70,809) 260,211	(59,466) 215,144	(71,993) 224,653	(55,553) 208,213

(注)

- ()内はうち基準外繰入金額を記入すること。
- 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰出金について」(総務省自治財政局長通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。